

発展 ヨーロッパ人による世界統合と移民	学習指導要領の「内容」の(5)ア「市民革命や産業革命を契機に欧米諸国のアジアへの進出を背景に、開港とその影響について理解させる」に示す内容を学習指導要領に示されていない内容として取り扱っており、不適切である。
大船の東進をむすぶ横断鉄道も開通すると、太平洋を横断する航路を開えはじめました。こうしてアメリカの使節ペリーは、この航路の開拓の事柄のため、日本にやってきました。	大陸横断鉄道開通後、ペリーが日本に来航したというのは誤りである。
19世紀には、ヨーロッパによる世界統合のうごき(グローバリゼーション)が進展にすすみました。	「グローバリゼーション」について誤解するおそれのある表現である。
移民によってつくられた植民地は、…工業化しつつあった欧米や日本に大量の産物資源を供給し、…人類の歴史の上に大きな影響をおよぼすこととなりました。	「移民によってつくられた植民地」に関して、誤解を招く表現である。



ヨーロッパ人による世界統合と移民 19世紀の世界



19世紀の世界とペリー来航の経路
アメリカ合衆国は国内の産業革命がすすみ、中国への進出を模索していました。当時はアメリカ大陸の西(いまのカリフォルニア州)で金鉱がみつかり、人びとが西部開拓に乗りだしては開拓でした。大陸の東進をむすぶ横断鉄道も開通すると、中国に向けて太平洋を横断する航路を開えはじめました。こうしてアメリカの使節ペリーは、この航路の開拓の事柄のため、日本にやってきました。

ヨーロッパ人の世界進出

19世紀には、ヨーロッパによる世界統合のうごき(グローバリゼーション)が急激にすすみました。このうごきははじめたのは16世紀の「大航海」時代でしたが、その時代にヨーロッパ人が支配したり、移住した地域はおもにアメリカ大陸で、アジアの大国は独立と繁栄をつづけていました。しかし、18世紀のなかば以後、強国となったフランスとイギリスは、アメリカ大陸だけでなく、アジアで



シンガポールの風景 19世紀なかごろのようす

も勢力を争うようになりました。たとえば、ナポレオンとの戦争に勝ったイギリスは、インドから中国への通路としてシンガポールを確保しました。アヘン戦争で清国が敗れたあとは、東アジアに多くのヨーロッパの商人や宣教師、そして軍艦がやってくるようになりました。インドは1858年にイギリス、ベトナムは1880年代にフランスの支配下にはいります。こうして20世紀になったころには、西洋以外の国で独立を保っているのは、日本や中国・タイ・オスマン帝国など、ごくわずかになりました。

人の移動と移住

いっぽう、19世紀には、多くの人びとが大洋をこえて、別の大陸へ移住するようになりました。蒸気船や鉄道が発明され、遠くへ遠く、安く移動できるようになったためです。インド人、中国人、とくに西北ヨーロッパの人びとが多く移動しました。行き先は、北アメリカ大陸がもっとも多く、つぎに中南米やオーストラリアでした。はじめは一時的な出

(「発展 ヨーロッパ人による世界統合と移民 19世紀の世界」は、「深める歴史9 ヨーロッパ人による世界統合と移民 19世紀の世界」というテーマ学習として、該当箇所におく。指摘箇所35・36・37は指摘箇所34において、あわせて修正して示す。)

深める歴史 9

ヨーロッパ人による世界統合と移民 19世紀の世界



19世紀の世界とペリー来航の経路
アメリカ合衆国は19世紀のなかばにメキシコとの戦争に勝って太平洋にカリフォルニア州などの広大な領土をもつ国となりました。カリフォルニアで金鉱が発見されると、多くの人びとがこの新地に移住をはじめ、そこからさらに太平洋をこえて当時は蛮国と考えられていた中国との貿易をはじめようという計画もたてられました。こうしてアメリカの使節ペリーは、中国への航路の開拓に立ち寄る港を開くため、日本にきたのでした。

◆ヨーロッパ人の世界進出

19世紀には、ヨーロッパによる世界統合のうごきが急激にすすみました。このうごきははじめたのは16世紀の「大航海」時代でしたが、その時代にヨーロッパ人が支配したり、移住した地域はおもにアメリカ大陸で、アジアの大国は独立と繁栄をつづけていました。しかし、18世紀のなかば以後、強国となったフランスとイギリスは、アメリカ大陸だけでなく、アジアでも勢力を争うようになりました。



シンガポールの風景 19世紀なかごろのようす

たとえば、ナポレオンとの戦争に勝ったイギリスは、インドから中国への通路としてシンガポールを確保しました。アヘン戦争で清国が敗れたあとは、東アジアに多くのヨーロッパの商人や宣教師、そして軍艦がやってくるようになりました。インドは1858年にイギリス、ベトナムは1880年代にフランスの支配下にはいります。こうして20世紀になったころには、西洋以外の国で独立を保っているのは、日本や中国・タイ・オスマン帝国など、ごくわずかになりました。

◆人の移動と移住

いっぽう、19世紀には、多くの人びとが大洋をこえて、別の大陸へ移住するようになりました。蒸気船や鉄道が発明され、遠くへ遠く、安く移動できるようになったためです。インド人、中国人、とくに西北ヨーロッパの人びとが多く移動しました。行き先は、北アメリカ大陸がもっとも多く、つぎに中南米やオーストラリアでした。はじめは一時的な出稼ぎで、鉱山や都会の商店、開拓農場で働い



アメリカ合衆国の人口増加



19世紀までの人口の移動 (ホブズボーム『資本の時代 2』ほか)



中国移民の移住 太平洋横断の船に乗ってアメリカに向かう中国人。(『週刊リバー』1876年)
 中国移民の移住 新天地を求めてアメリカにたどりついた人びと。

様で、鉱山や都会の商店、開拓農場で働いたり、鉄道や建物を建設したのですが、移動先に定住する人も増えていきました。このため、19世紀のはじめに約530万人にすぎなかったアメリカ合衆国の人口は、20世紀はじめには10倍以上に達しています。

中国人は、これ以前から東南アジア各地に移民していましたが、蒸気船航路ができて遠距離に行けるようになると、たとえばアメリカの鉄道工事に大量の人びとが向かうようになりました。日本は、このように人びとが大量に地球中をうごきまわようになったとき

に鎖国をやめて開国したのですが、若干の人びとがハワイや北アメリカに出稼ぎに行った程度で、国外へ移民する人びとは多くありませんでした。

移民によってつくられた植民地は、いっばうで、先住民を不便な土地に追いやり、その社会を破壊しましたが、他方では、工業化しつつあった欧米や日本に大量の財物資源を供給し、またアメリカ合衆国のように、民主主義という自由で平等な市民による新しい政治のしくみも生みだして、人類の歴史の上に大きな影響をあたえることとなりました。



アメリカ合衆国の人口増加



19世紀までの人口の移動 (ホブズボーム『資本の時代 2』ほか)



中国移民の移住 太平洋横断の船に乗ってアメリカに向かう中国人。(『週刊リバー』1876年)
 中国移民の移住 新天地を求めてアメリカにたどりついた人びと。



たり、鉄道や建物を建設したのですが、移動先に定住する人も増えていきました。このため、19世紀のはじめに約530万人にすぎなかったアメリカ合衆国の人口は、20世紀はじめには10倍以上に達しています。

中国人は、これ以前から東南アジア各地に移民していましたが、蒸気船航路ができて遠距離に行けるようになると、たとえばアメリカの鉄道工事に大量の人びとが向かうようになりました。日本は、このように人びとが大量に地球中をうごきまわようになったときに鎖国をやめて開国したのですが、若干の人

びとがハワイや北アメリカに出稼ぎに行った程度で、国外へ移民する人びとは多くありませんでした。

移民によってつくられた国では、先住民を不便な土地に追いやり、その社会を破壊しました。その一方、食糧や財物資源をヨーロッパに、工業化をすすめていた日本には棉花などの工業原料を供給しました。またアメリカ合衆国のように、民主主義という自由で平等な市民による新しい政治のしくみも生みだして、人類の歴史の上に大きな影響をあたえることとなりました。